



J O F ニュース

APAN PERA OUNDATION
日本オペラ振興会会報

No.28

表紙photo :
2024年藤原歌劇団公演
「ファウスト」
作曲：C.グノー
指揮：阿部加奈子
演出：ダヴィデ・ガラッティエーニ・ライモンディ
写真：池上直哉



目次 • Contents

- 2 JOF お知らせ
- 3 藤原歌劇団・日本オペラ協会だより
- 4 藤原歌劇団創立90周年特集
- 6 「ラ・チェネレントラ」インタビュー
鈴木恵里奈／フランチェスコ・ベッロット
但馬由香／山下裕賀
- 8 公演レビュー
- 9 公演ラインアップ／新入団会員紹介
- 10 外部出演マネージメント オペラ&コンサート情報

information

お得で魅力一杯のJOF (日本オペラ振興会) 鑑賞会員 選べる! <JOFプレミアムシート> 2024/25シーズン ● 新規会員大好評募集中!!

藤原歌劇団・日本オペラ協会の公演がまとめてお申し込みいただける<JOFプレミアムシート>2024/25シーズンは、全5箇所4演目を最大20%OFFでご鑑賞できます! 限定特典も盛りだくさんです。
お得な<JOFプレミアムシート>をお見逃し無く!

*どの会員も数とお申し込み期間に限りがございますので、お早めにお申込みください。
詳細は、下記チケットセンターにお問い合わせください。

会員特典

- ① 最優先でお席を確保いたします
- ② 有料プログラム引換券を進呈
- ③ ゲネプロ (最終舞台稽古)*
バックステージ見学へのご招待*
- ④ 所属歌手との交流会 (有料) への参加 ※年1回予定
- ⑤ その他主催コンサートへご優待価格でのご案内 他

*ゲネプロ見学は、お選びいただいた演目のみご観覧いただけます。
バックステージ見学は、会場により開催しない場合もございます。

お問合せ: 日本オペラ振興会チケットセンター
03-6721-0874 (平日10:00~18:00)

プレミアムシート特設ページで金額も簡単に確認いただけます。今すぐチェック!

日本オペラ振興会 検索

公益財団法人日本オペラ振興会ではご寄付・賛助会員によるご支援をお願いしています

より魅力的なオペラ公演の実施や財団の安定的な運営のため、
ご寄付・賛助会員によるご支援をお願いいたします

- ◎寄付金 ご自由な金額から、随時お申込みいただけます。
- ◎賛助会員 年会費: 法人30万円から 個人10万円から
- ◎税法上の優遇措置 当振興会は公益財団法人につき、当振興会への寄付金、賛助会費に対しては、法人、個人それぞれに税法上の優遇措置が適用されます。

<お問い合わせ・資料のご請求> 日本オペラ振興会総務部 TEL 03-6721-0995 FAX 03-6721-0997 E-mail support@jof.or.jp

育成部 募集

～オペラの未来を担う人材を募集します～ オペラ歌手育成部 研究生・選科生



藤原歌劇団公演「トスカ」(2023年)
第16期修了/小林厚子(トスカ役)
第27期修了/澤崎一了
(カヴァラドン役)



藤原歌劇団公演
「劇場のわがままな歌手たち」(2023年)
第22期修了/押川浩士(アガタ役)



日本オペラ協会公演
「源氏物語」(2023年)
第9期修了/佐藤美枝子(六条御息所役)

2024年度より育成部事務所は黒川稽古場へ移転致します。育成部の一部授業・稽古を主催公演の稽古場で実施。より本番に近い実践的な指導を受けることができます。

募集要項はホームページより
ご覧ください。

育成部専用ページ:

<https://www.jof.or.jp/training/>



(お問い合わせ先)

公益財団法人
日本オペラ振興会
オペラ歌手育成部

● 2024年4月2日(火)まで *4/3(水)は移転のため
〒215-0004 休業致します。
神奈川県川崎市麻生区万福寺1-12-7 山田ビル2階
TEL (044)969-7197 (平日・午前10時~午後6時)
FAX (044)953-8693

● 2024年4月4日(木)以降
〒215-0035
神奈川県川崎市麻生区黒川76-1
TEL (044)819-5505 (平日・午前10時~午後6時)
FAX (044)819-5205

サテライト教室

2024年度 アミーチ藤沢クラス 春期生募集

～選科生声楽アミーチコースのプレクラスとして、オペラアンサンブルを楽しく本格的に学べます～

- ◆ 開講日 日曜日 10:30 ~ 13:30 ◆ 期間 半年/授業回数15回(2024年5月~10月) + 発表会(費用別途負担)
- ◆ 会場 JR線・小田急線「藤沢」駅南口より徒歩4分 *詳しくはwebサイトをご覧ください、オペラ歌手育成部までお問い合わせください。

藤原歌劇団 だより



藤原歌劇団総監督
折江 忠道

コロナ禍から始まり、数々の戦禍、そして今年元旦の能登半島地震……。かつて想像すらもしなかった災禍が次から次へと押し寄せる現実には、我々にとっては理解と納得の及ばぬ時代の波に押し流されそうになりながらも、必死に堪え忍ぶ日々が続いています。

私たちも例外ではなく、本年度より文化庁からの助成金が大幅に減額され、その影響はオペラ、クラシック音楽業界を始め、あらゆる文化芸術関係団体、各団体に及んでいます。いよいよ芸術文化の自立が求められる時代が始まったと言っても過言ではありません。

今までは、少なくとも燃料積載状況での航海が可能だった運航も、今後は帆船自力航海に切り換えなければならぬ時代が到来する可能性が出現したとも言えます。自力運航とは、マストや帆を含む船体自体の強化、乗船者全員の質力、体力の強化、更には沈着冷静な思考や行動力等々が大きく求められる事だと考えます。

実際には、日本オペラ振興会における経

営、運営を担当する事務方と直接舞台を作り上げる現場担当の制作とが各々の役割に対し責任を持って業務を果たし、一致団結して同じ価値観の共有をもって事に当たる必要性が益々深まっている様に思えて仕方ありません。

目下、財団側ではスポンサーの誘致、賛助会員、プレミアム会員の拡充、クラウドファンディングの立ち上げ等々を実施中ですが、少なくともオペラの本番では一人でも多くのお客様にご来場いただき、客席を100%の集客率で埋めるという基本理念と姿勢を持って、団員一人一人の更なる絶大且つ強い協力と実践でより良い公演制作に邁進する所存です。

90年間燃やし続けて来た藤原歌劇団のオペラ舞台を絶やす事のないよう、引き続きご支援・ご声援のほど宜しくお願い申し上げます。

日本オペラ協会 だより



日本オペラ協会総監督
郡 愛子

暖冬のためでしょうか、お花屋さんの店先には早くも春の花が並び始めました。先ず冒頭で、元旦の能登半島地震で被災された地域の皆様方に、あらためまして心よりお見舞い申し上げます。

私ども日本オペラ協会が去る2月10日より12日までめぐろパーシモンホールで開催いたしました2023年度公演・新作初演オペラ「ニンゲル」は、皆様方のお陰により満員の盛況のもとで大きな成功を収めることができました。原作の戯曲「ニンゲル」は、倉本聡さんが進化と深化を目指して改稿を重ねてこられた大切な作品です。倉本さんはこの作品について、「『真実』と『勇気』そのことをモチーフに、今日の利害に捉われて明日のこと未来のことにフタをする我々の生き方を問いたいと思った。恐らくニンゲル(小さい人)はそのことを云わす為に、僕の指先に座ったのだと思う」と述べておられます。私ども日本オペラ協会は、普遍的な価値観から成るこの「ニンゲル」が古典作品となりま

地ともいべき上野・奏楽堂で、7月12日に開催致します。明瞭な日本語と歌心に秀でた歌い手たちによる、新しい感覚の歌曲と最新のオペラからのアリアをお楽しみいただきたいと思います。

さて、「日本オペラ・日本歌曲 連続演奏会第73回」を、日本における近代音楽の聖

24年度のオペラ公演は、なかにし礼作・台本に基づく三木稔作曲の「静と義経」を25年3月8日(土)・9日(日)、東京文化会館で開催いたします。18年度に「日本オペラ協会創立60周年記念公演」として、新宿文化センター大ホールで上演し、二日間満席となり、感動の拍手と歓声に包まれました。本オペラは、日本オペラ協会にとって特筆すべき演目となり、今回再演する運びとなりました。明日の我が身さえ見えな

い無常の世を背景に、義経への永久の愛、まことの愛をどこまでも貫こうとする、激しくも切ない静の心の奥に引き込まれます。そして弁慶をはじめ義経に忠義を尽くす武士達、頼朝と名だたる武将達、政子、大姫：登場人物皆それぞれの命の鼓動さえも聞こえるような、歴史絵巻を思わせるオペラです。ニュープロダクションにおける演出とキャストにもご注目くださいませ。

2024年、藤原歌劇団は 創立90周年を迎えました



1934年 藤原歌劇団旗揚げ公演「ラ・ボエーム」第二幕より

2024年6月7日、藤原歌劇団は創立90周年を迎えます。
今日まで、幾多の時代の荒波をも乗り越え
歴史を重ねることができましたことは、
日ごろより応援してくださる皆様のおかげと心より感謝申し上げます。

藤原義江という一人の歌手が生涯をかけて愛し、
夢と情熱を注いだオペラの灯を、
次の10年、そしてその先の100年につなぎ、
より多くの人々の人生を「オペラの力」によって豊かにしたい——

創立90周年を迎え、次の100年に「オペラの力」を繋ぐため、
今後ともご支援、ご声援のほど宜しくお願い申し上げます。

—— 創立90周年イヤーに向けて、藤原歌劇団がオペラを未来に
繋ぐためのミッションとはなんでしょうか？



総監督 折江忠道に聞く

私としては、90周年だからこそ、オペラの持つ「愛」というもの
をとことん前面に出していきたいです。人間って捨てたもの
じゃないということ、絶えず世に問いかけています。今、世
界経済は不安定で、戦争はあちこちで起きていますし、災害も起
きている。オペラとして、そこに対してのメッセージが必要で
す。表面的にどうのこうのではなくて、やっぱり中身を見つめ
ようというのが私の考えです。派手さとかきらびやかさを求め
るとどんどんコストがかかる。だからこそ、中身で勝負するとい
う姿勢をいつまでも続けていきたい。時代を、そして人間を
もっとちゃんと見つめるといふことを、変わることはないテー
マとして持つておきたいと思えます。そして歌い手も、ただ大
声で歌うのではなくて、きちんとそういうことを見つめられ
る歌い手が育ってくれることこそが、10年、20年先のオペラを
守っていくことにつながるのではないかと思います。

しかし、今私の頭にあるのはとにかく戦争です。人間を深く
見つめる愛と、人間賛歌みたいなものを大事にして、それを全
面的に出したい。そして戦争っていうものをなくそうよ、とい
うのが私の希望です。

今シーズンの演目は、まず4月にロッシニの「ラ・チェネ
レントラ」、11月にドニゼッティの「ピア・デ・トロメイ」、そ



2018年 藤原歌劇団公演「ラ・チェネントラ」



昭和音楽大学オペラ公演2010「ピーア・デ・トロメイ」
(演出:マルコ・ガンディニ)より

Photo: K.miura



2015年 藤原歌劇団創立80周年記念公演「ファルスタッフ」

れから2025年2月にヴェルディの「ファルスタッフ」となります。これらの作品は、表面的に見るとそれぞれタイプの違う作品です。けれど、やっぱりどれも奥底に流れるのは「愛」といえます。

— 24/25 シーズンの演目にかける想いを教えてください。年イヤーに向けて、藤原歌劇団がオペラを未来に繋ぐためのミッシヨンはなんでしょうか？

「ラ・チェネントラ」はイタリア語でシンデレラのことですが、彼女は生きることに関心を持っていない、素直に生きようとする人の象徴だと思います。素直さは、ある意味純粋で無欲な愛情ともいえる。その無欲の愛こそが非常に貴重であるということ、私はこの作品に感じます。

「ピーア・デ・トロメイ」というのは、戦争が大きな題材になっている作品です。政治上での敵対や領土争いなどで、隣の国同士が戦争状態というのはあの時代の常。そういった時代の中で、政略結婚をさせられたある夫婦の話で、ダンテの『神曲』にも描かれた、歴史上の実話でもあります。夫婦は、本当はお互い愛し合っているのに、どうしても敵対する家柄同士で、疑いの心がいちもある。いわば歪んだ愛です。そして戦争させなければ、そのまま素直に仲のよい夫婦として幸せな一生を暮らせたのに、スタスタにされてしまう。やはり戦争は愚かで、人の愛を崩す

大きな要因だということ。裏を返せば、人が人を愛する気持ちがあれば、戦争というものは起こらないはずだということも伝えていきたい。そんな思いから選んだ演目です。今の時代にも、すごく適応していると思います。

最後に「ファルスタッフ」。これは普通、喜劇として上演される作品ですが、実は人間の悲哀を描いています。主人公は若い頃、イギリスの王様で奥さんを8人殺したというヘンリー八世に仕えていた人物。世の中の汚い面をたくさん見ながら、うまく生きてきたにもかかわらず、老人になると誰からも相手にされないという哀愁。「人生なんてこんなもんだよ、だからみんな楽しんでやろうよ」というのがこのオペラのテーマです。私にとって、それは人類愛だと感じます。能力のあるなしとか、環境の良し悪しで人を見ることがいかに馬鹿げているか。それより、心の中の純粋な部分でいつも人を判断しようという、人間の根本みたいなものを思い知らされるように感じます。面白おかしくやっているのだけど、中身には苦悩があり、愛がある作品です。ただこの作品は、上演するのが非常に難しい。大勢の出演者が必要だし、歌の技術もさることながら、演技力がなくとも、人間の本当の姿みたいなものをこの作品で追求できればと思っています。

日本オペラ振興会では、現在「日本のオペラ芸術を未来へ！」と題し、藤原歌劇団創立90周年という節目にクラウドファンディングを実施しております。

創立記念日の前夜6/6に帝国ホテルにて行われるイベントにご招待させていただくプランや、歌手が起こしてくれる!?目覚まし時計など、魅力的なリターン品を用意しております。ぜひ多くの皆さまのあたたかいご支援、宜しく申し上げます。

詳細はこちら →



■ 藤原歌劇団創立90周年記念公演

ラ・チェネントラ

G.ロッシーニ作曲 <オペラ全2幕>

4月27日(土)・28日(日) 14:00 ● テアトロ・ジーリオ・ショウワ

指揮…鈴木恵里奈 演出…フランチェスコ・ベッロツト

アンジェリーナ…但馬由香 / 山下裕賀
ドン・ラミーロ…小堀勇介 / 荻原孝弥
ドン・マニーフィコ…押川浩士 / 坂本伸司
ダンディーニ…岡 昭宏 / 和下田大典
クロリンダ…楠野麻衣 / 米田七海

ティーズベ…米谷朋子 / 高橋未来子
アリドーロ…久保田真澄 / 東原貞彦
合唱…藤原歌劇団合唱部
管弦楽…テアトロ・ジーリオ・ショウワ・オーケストラ



●公演に寄せて



鈴木恵里奈
[指揮]

私はこれまで藤原歌劇団では多くのプッチーニ作品に関わってきました。プッチーニのオペラは、色彩感溢れるオーケストラをただ美しいだけで終わらせず、うねりや深み、イタリア語と一体となった流れでいかにドラマを語っていくか、というのが醍醐味の一つでした。また、お客様は自然に登場人物に感情移入していきます。例えば「蝶々夫人」では、自己憐憫に陥ることなく、信じる気持ちを固く持つて気丈に振る舞い続ける蝶々さん像を、音楽面からも作るよう心がけています。

一方、「ラ・チェネントラ」はなんて可哀想な私！私は悲劇のヒロイン！がユーモラスに表現できる作品です。プッチーニに比べると非常に軽妙洒落な音楽で、オーケストラも舞台上に躍動感を与えます。また作品の至るところに、人間の声の可能性を感じる喜びや、イタリア語の音や響きを楽しめる部分も多くあります。ソリストの皆様とは、公演中にそれぞれが共演者同士を信じて舞台上で自由に生き、歌える環境を整えられるよう、リハーサルを重ねていきたいと思っています。

そして、リハーサル通りの公演をお客様にお見せするのではなく、常に新鮮であり続ける演奏をお届けし、ご来場いただく皆様にもまたロッシーニの魔法にかかっていただけますよう、精一杯努めます。この度はこの機会をいただき、大変光栄に思っております。

●演出ノートより



フランチェスコ・ベッロツト
[演出]

今回の「ラ・チェネントラ」の舞台は、演出家とは、文字ではなくてオブジェや人物にて物語る小説家の異称でしかないと言った年考えていた私の確信から生まれました。そこに描かれる世界は、書物の一節などから生まれるものではなく、上演の度に舞台から命を吹き込まれるのです。

この演出の根底には、「ラ・チェネントラ」というお話を物語るという、まさに語りによる詩的演出があります。私は、本を読み終えたばかりの少女が、自ら想像力豊かに思い描く「ラ・チェネントラ」を、机の引き出しから拝借した小物を交えて物語る様子を思い浮かべました。

登場人物たちが書物から抜け出すとオペラは始まります。本の中の世界に囚われ、作家に握られていた運命に抗うことで、彼らは自らの歩みを見つけなければなりません。古来いじめの被害者だった主人公アンジェリーナとして然り。その宿命に立ち向かい、預かった高価なドレスレットさえ我が物としてしまう姿は、心優しい孤児のころか、まるで現代社会に生きる女性のようです。

私たち夢想家の心が最も痛むのは、登場人物を本の世界から自由にしてやれないことであり、そこで彼らが地団駄踏んで躍起になって生きる姿を見るのは辛いのです。幕を開ければ囚われのアンジェリーナを救えますが、それは私たちすべてにとっても束縛から救われる瞬間なのです。

●アンジェリーナ
但馬由香 ヌッツ・ソプラノ

4/27
(土)



©Yoshinobu Fukaya

もあり、身体や歌唱法の変化に伴い再構築が必要なので、やっぱり必死です(笑)。

前回強く感じたのは、アンジェリーナはただ不幸な境遇に流されている弱々しい人物では無いという事です。特に、最終的に彼女がとった、父と姉たちを「許す」という選択は弱い人にはできない事だと思えます。復讐、欲望達成、愛憎、権力争いといった内容が多いオペラにおいて、彼女の志の高い在り方には、今もハッとさせられるものがあります。そしてロッシーニの音楽の中には、そんな彼女の主張や思想、またコミカルな面が感じられる箇所が沢山ありますので、それを楽しんでいただけるようがんばりたいと思います。

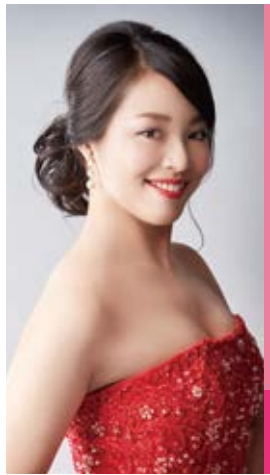
●応援してください！
皆様へ、メッセージをお願いします！

いつも藤原歌劇団を応援していただきありがとうございます！今回のオペラ「ラ・チェネレントラ」の原作はシャルル・ペローが書いた有名な「シンデレラ」のお話です。それを作曲家ロッシーニがオペラにしたらどんな世界が広がるのか、ぜひ劇場でご観劇いただきたいです。

演出家のフランチェスコ・ベッロツトさんが作られる舞台も大変素敵です。最初の登場シーンでアンジェリーナは「あるお家のテーブルの上に置かれた本の中から出てくる」んです。王子様も従者も父親も姉達も、みんながミニサイズとなってお話が進む、可愛らしい舞台です。きっとお子様から大人の方まで幅広い世代の方楽しんでいただけると思います。心よりご来場をお待ちしております！

●アンジェリーナ
山下裕賀 ヌッツ・ソプラノ

4/28
(日)



©Yoshinobu Fukaya

ない人に分けてあげたい」や、アリアの前の「私の最大の復讐は、許す」ということです」など、この優しくてとても強いエネルギーをもつ言葉が散りばめられています。彼女の心が開いていく様子に寄り添って聴いていただくと嬉しいなと思います。

●メッツ・ソプラノにとって重要な役どころが与えられるロッシーニ作品ですが、山下さんにとってロッシーニのオペラの魅力はどのようなところでしょうか。

私がこれまでロッシーニのオペラのロールを務めたのは「セビリヤの理髪師」のロジーナだけなので、ロッシーニを語るにはまだまだ早い！ですが、やっぱり細かい音符を伴ったフレーズは輝いていて、ワクワクドキドキが詰まっています。本当に魅力的ですよ。

ロッシーニの魅力は細かい音符だけにはとどまらず、大アンサンブルの迫力や言葉遊びの面白さなど、推しポイントはたくさんあります。レタタイヴォンにおいても、ある意味、ボケとツッコミ的な会話のテンポ感があって、それがカチツとはまると本当に気持ちが良い！全員でバトン繋ぐような楽しさもあります。

「ラ・チェネレントラ」はもともとのお話が童話だということもあり、とても親しみやすい物語だと思います。ロッシーニ好きの方もそうでない方も、そしてオペラってどんなものなのか？なんて思う方でも気軽に挑戦してください！！

皆さんのお気に入りの場面や曲、キャラクターを、ぜひ見つけていただけたらうれしいです。



2024年 藤原歌劇団公演「ファウスト」
シール



● 2023 グランドオペラフェスティバル in Japan / 藤原歌劇団公演

G.ブッチェニ 作曲「ラ・ボエーム」

2023.12/8 ● フェニーチェ堺 (堺市民芸術文化ホール) 大ホール

2023.12/16 ● レクザムホール (香川県県民ホール) 大ホール

人気の岩田達宗演出「ラ・ボエーム」を
藤原を代表する出演者で華やかに上演

1934年6月7日に旗揚げ公演として「ラ・ボエーム」を日本初演してから2024年で創立90周年を迎えた藤原歌劇団が、大阪・堺、香川・高松の2箇所での記念碑オペラを上演しました。2007年に新制作した岩田プロダクションは、画家佐伯祐三からインスピレーションを得て作られたパリの街並みが美しく、当団でも何度も繰り返し上演してきた人気の演出です。ミニ役は砂川涼子、ロドルフォ役は藤田卓也、他この演目に相応しいキャストと、オペラのみならず全国で活躍している柴田真郁の指揮で、各地元の児童合唱団も加わり、クリスマスを目前にこのブッチェニの名作を各地の皆様にお届け致しました。



- 指揮 柴田真郁 ●演出 岩田達宗
- 出演 ミミ:砂川涼子 ロドルフォ:藤田卓也 マルチェッロ:押川浩士 ムゼッタ:米田七海 ショナール:森口賢二 コッリーネ:久保田真澄 ベノア:折江忠道
アルチンドロ:東原貞彦 パルビニョール:山内政幸
合唱:藤原歌劇団合唱部 児童合唱:堺シティオペラ Kid's Chor. (大阪) / 香川オーリーブ少年少女合唱団 (香川) 管弦楽:ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団
- スタッフ 美術:増田寿子 衣裳:前田文子 照明:沢田祐二 舞台監督:菅原多敢弘 他



● 藤原歌劇団公演

C.グノー 作曲「ファウスト」ニュープロダクション (新制作)

2024.1/27・28 ● 東京文化会館 大ホール

2024.2/3 ● 日本特殊陶業市民会館 ビレッジホール (愛知)

新春に相応しく、合唱・バレエを含む
イタリアとのコラボによる豪華プロダクション

藤原歌劇団が2024年新春にお届けしたのは、当団ではおよそ30年振りとなるフランスのグランドオペラ「ファウスト」を東京・愛知にて上演。指揮は、フランスで研鑽を積み現在オランダを拠点に世界で活躍する阿部加奈子が日本でのオペラデビュー。演出はイタリアのライモンディが映像を駆使し、まるで百面相のように表情を変えながら心情を表しました。ファウストの村上と澤崎、メフィストフェレスのカッチャマーニと伊藤、マルグリートの砂川と迫田、その他実力派の歌手による藤原歌劇団の総力をあげた公演に、あたたかい拍手が贈られました。



- 指揮 阿部加奈子 ●演出 ダヴィデ・ガラツィーニ・ライモンディ
- 出演 ファウスト:村上敏明 / 澤崎一了 メフィストフェレス:アレッシオ・カッチャマーニ / 伊藤貴之 マルグリート:砂川涼子 / 迫田美帆 ヴァランタン:岡 昭宏 / 井出壮志朗
シーベル:向野由美子 / 但馬由香 ワグネル:大槻聡之介 / 高橋宏典 マルト:山川真奈 / 北園彩佳
合唱:藤原歌劇団合唱部 バレエ:NNIバレエアンサンブル 管弦楽:東京フィルハーモニー交響楽団 (東京) / セントラル愛知交響楽団 (愛知)
- スタッフ 衣裳:美術:ドメニコ・フランキ 照明:西田俊郎 振付:伊藤範子 舞台監督:菅原多敢弘 他



● 日本オペラ協会公演 日本オペラシリーズNo.86

倉本聰 原作 / 渡辺俊幸 作曲 / 吉田雄生 オペラ脚本

「ニンゲル」世界初演

2024.2/10・11・12 ● めぐるパーシモンホール 大ホール

「未来につなげ」「昔に返せ」——
大注目の新作オペラに、連日感動の渦!

日本オペラ協会が今回新制作したのは、日本を代表する脚本家・作家である倉本聰の代表作の一つ、戯曲『ニンゲル』を倉本作品として初のオペラ化。日本を代表する作曲家渡辺俊幸の温かい音楽と、倉本からの信任厚い吉田雄生の脚本によりオペラ「ニンゲル」として生まれ変わりました。指揮と演出は、数々の日本オペラを成功に導く田中祐子と岩田達宗が務め、当会を代表する出演者陣により、自然を大切にすることの重要性を渾身の想いでオペラとして上演しました。連日満員のお客様にご来場いただき、スタンディングオベーションのカーテンコールで世界初演が大成功のうちに終幕いたしました。



- 指揮 田中祐子 ●演出 岩田達宗
- 出演 勇太(ユタ):須藤慎吾 / 村松恒矢 才三:海道弘昭 / 渡辺 康 かつら:佐藤美枝子 / 光岡暁恵 ミクリ:別府美沙子 / 相楽和子 スカンボ:中桐かなえ / 井上華那
光介:杉尾真吾 / 和下田大典 信次:黄木 透 / 勝又康介 民吉:久保田真澄 / 泉 良平 ニンゲルの長(カムイ):江原啓之 / 山田大智 かや:丸尾有香 / 長島由佳
信子:佐藤恵利 (全日) 合唱:日本オペラ協会合唱団 管弦楽:東京フィルハーモニー交響楽団
- スタッフ 美術:松生紘子 衣裳:下斗米大輔 照明:大島祐夫 振付:古賀 豊 舞台監督:伊藤潤 他

Opera

■藤原歌劇団創立90周年記念公演

「ラ・チェネントラ」

G.ロッシーニ作曲

指揮：鈴木恵里奈

演出：フランチェスコ・ベッロツト

2024年4月27日(土)・28日(日) 14:00

テアトロ・ジューリオ・シヨウワ

■藤原歌劇団創立90周年記念公演・

NISSAY OPERA 2024

「ピーア・デ・トロメイ」

ニュープロダクション

G.ドニゼッティ作曲

指揮：飯森範親

演出：マルコ・ガンディーニ

2024年

11月22日(金)・23日(土)・24日(日)

14:00

日生劇場

■藤原歌劇団創立90周年記念公演

「ファルスタッフ」 ニュープロダクション

G.ヴェルディ作曲

指揮：時任康文

演出：岩田達宗

2025年2月1日(土)・2日(日) 14:00

東京文化会館 大ホール

2025年2月8日(土)

愛知県芸術劇場 大ホール

■日本オペラ協会公演

「静と義経」 ニュープロダクション

なかにし 礼 作・台本／三木 稔 作曲

指揮：田中祐子／演出：三浦安浩

2025年

3月8日(土)・9日(日) 14:00

東京文化会館 大ホール

Concert

■ 団員企画シリーズ

スプリングコンサート2024

2024年3月24日(日) 14:00

ユリホール(昭和音楽大学南校舎内5階)

デビューコンサート

2024 vol.1

2024年5月25日(土) 14:00

イノホール

■ 日本オペラ協会公演

日本オペラ・日本歌曲

連続演奏会 第73回

2024年7月12日(土) 13:30

台東区立旧東京音楽学校楽奏堂

新入団・会員 紹介 (*=準団員・準会員より)

藤原歌劇団 正団員	▶ 推薦による		▶ オペレーションによる		藤原歌劇団 正団員	▶ 推薦による		藤原歌劇団 正団員	▶ オペレーションによる		藤原歌劇団 正団員	▶ 推薦による		藤原歌劇団 正団員	▶ オペレーションによる	
	りうんきん 李 恩敬(S)	いぬい 乾 ひろこ(S)	やまはたはる こ 山畑晴子(S)	よねだ ななみ 米田七海(S)*		じょ だいく 徐 大愚(Br)	いまにしひとみ 今西仁美(S)*		たけはな まや 竹花摩耶(S)*							
日本オペラ協会 正会員	▶ 推薦による		▶ オペレーションによる		日本オペラ協会 正会員	▶ 推薦による		日本オペラ協会 正会員	▶ オペレーションによる		日本オペラ協会 正会員	▶ 推薦による		日本オペラ協会 正会員	▶ オペレーションによる	
	ひろきはる 上 廣木悠代(S)*	おかだ みゆ 岡田美優(S)*	ふくだ あかね 福田亜香音(S)*	まるお つか 丸尾有香(Ms)		はまだ しょう 濱田 翔(T)*	まつ ぼらゆうま 松原悠馬(T)*		なかがわゆう こ 中川悠子(S)	こいわた まさと 小岩井雅人(Br)*						
藤原歌劇団 準団員	▶ オペレーションによる		▶ オペレーションによる		藤原歌劇団 準団員	▶ オペレーションによる		藤原歌劇団 準団員	▶ オペレーションによる		藤原歌劇団 準団員	▶ オペレーションによる		藤原歌劇団 準団員	▶ オペレーションによる	
	いほら ゆら 伊原由桜(S)	かね こ ゆり 金子悠里(S)	たけうち ようこ 竹内葉子(S)	まへた り え 前田理恵(S)		みかみ ひろみ 三上博美(S)	むらい ひろこ 村井裕子(S)		しまぎしやう のすけ 高崎昭之助(Br)							
藤原歌劇団 準団員	▶ オペレーションによる		▶ オペレーションによる		藤原歌劇団 準団員	▶ オペレーションによる		日本オペラ協会 準会員	▶ オペレーションによる		日本オペラ協会 準会員	▶ オペレーションによる		日本オペラ協会 準会員	▶ オペレーションによる	
	すず き き み こ 鈴木貴美子(S)	かわさき けんいちろう 川崎慎一郎(T)	たむら ともじろう 田村智仁郎(Br)	かんだ あずさ 神田 粹(S)		まき た ち え こ 榎田千恵子(S)	しん み さ こ 進美沙子(Ms)									

Schedule & Information

2024年 外部出演マネージメント (2024年4月~9月)

(2024年3月15日現在) ※今後、中止・延期になる可能性がありますので予めご了承ください。

【2024年】

4/7 (日)

東京・春・音楽祭舞台祝祭劇
「ニーベルングの指環」より
「ジークフリート」

出演: 中畑有美子

会場: 東京文化会館 大ホール

4/7 (日)

Dramatic Series 歌劇「夕鶴」

出演: 砂川涼子、清水徹太郎

会場: 横須賀芸術劇場

4/17 (水)・20 (土)

東京・春・音楽祭「アイダ」(演奏会形式)

出演: 中畑有美子

会場: 東京文化会館 大ホール

4/25 (木)

市町村長特別セミナー「ミニコンサート」

出演: 小林厚子、藤原藍子

会場: 市町村アカデミー

5/5 (日・祝)

日本橋オペラ2024 日本初演シリーズ4

モンレオーネ (日本初演) &

マスカーニ カヴァレリア・ルスティカーナ×2

出演: 村上敏明

会場: 日本橋劇場

5/6 (月・祝)

スプリングコンサート

出演: 藤原歌劇団クアットロアリア

会場: ユリホール (昭和音楽大学南校舎内5階)

5/11 (土)

静岡音楽館AOI コン서트シリーズ

2024-25

ベートーヴェン交響曲全集V「第九」

出演: 清水徹太郎

会場: 静岡市民文化センター 大ホール

5/16 (木)・19 (日)・22 (水)・25 (土)・29 (水)

新国立劇場「椿姫」

出演: 久保田真澄

会場: 新国立劇場オペラパレス

5/25 (土)

5月の讃歌~オペラアリアと歌曲の夕べ

出演: 村上敏明

会場: 大浦天主堂

5/26 (日)

オペラコンサート~歌劇「トスカ」ハイライト

出演: 村上敏明

会場: アルカスSASEBO中ホール

6/8 (土)

パシフィックフィルハーモニー

第166回定期演奏会

ヴェルディ「レクイエム」

出演: 伊藤貴之

会場: 東京芸術劇場 コン서트ホール

6/21 (金)

広島音楽鑑賞協会公演

出演: 藤原歌劇団クアットロアリア

会場: 広島県民文化センター

6/22 (土)

アーリドラテ歌劇団 第10回公演

「シチリアの晩鐘」

出演: 村上敏明

会場: 新国立劇場中劇場

7/6 (土)

枚方シティオペラ2024 ガラコンサート

出演: 村上敏明

会場: 枚方総合文化芸術センター

7/11 (木)・13 (土)・17 (水)

新国立劇場

高校生のためのオペラ鑑賞教室 2024

「トスカ」

出演: 上江隼人

会場: 新国立劇場オペラパレス

7/12 (金)・13 (土)・14 (日)・15 (月・祝)

17 (水)・18 (木)・20 (土)・21 (日)

佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ2024

「蝶々夫人」

出演: 迫田美帆、笛田博昭、伊藤貴之

会場: 兵庫県立芸術文化センター

KOBELCO大ホール

8/2 (金)

安藤ゆかりリサイタル

出演: 村上敏明

会場: 電気文化会館

8/4 (日)

THE KOBAKENレクチャーコンサート

出演: 小林厚子、上江隼人

会場: 軽井沢大賀ホール

8/24(土)・25(日)
群馬交響楽団 Meet the オーケストラ!
2024群響夏休みコンサート
～オーケストラでSING SING SING!

出演:清水徹太郎
会場:高崎芸術劇場 大劇場

8/31(土)・9/1(日)
アプリコオペラ2024
オペレッタ「こうもり」

出演:小林厚子、砂川涼子、澤崎一了
会場:大田区民ホール・アプリコ大ホール

9/15(日)
東京フィルハーモニー交響楽団定期演奏会
歌劇「マクベス」(オペラ演奏会形式)

出演:但馬由香、伊藤貴之
会場:Bunkamura オーチャードホール

9/15(日)
東京文化会館オペラBOX「トスカ」

出演:迫田美帆、鈴木俊介、久保田真澄
清水理恵
会場:東京文化会館 小ホール

9/17(火)
東京フィルハーモニー交響楽団定期演奏会
歌劇「マクベス」(オペラ演奏会形式)

出演:但馬由香、伊藤貴之
会場:サントリーホール

9/19(木)
東京フィルハーモニー交響楽団定期演奏会
歌劇「マクベス」(オペラ演奏会形式)

出演:但馬由香、伊藤貴之
会場:東京オペラシティ コンサートホール

9/19(木)・20(金)
アウトリーチ

出演:村上敏明
会場:佐賀県東与賀

9/21(土)・23(月・振)
全国共同制作オペラ

歌劇「ラ・ボエーム」
出演:杉尾真吾
会場:東京芸術劇場 コンサートホール

9/26(木)
にいがた音楽鑑賞会

出演:楠野麻衣、丸尾由香
会場:リゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館

9/29(日)
全国共同制作オペラ
歌劇「ラ・ボエーム」

出演:杉尾真吾
会場:名取市文化会館 大ホール

受託オペラ

4/29(月・祝)
～オペラ&ディナー～
第16回 ジ・インペリアル オペラ
藤原歌劇団公演「トスカ」

出演:佐藤亜希子、澤崎一了、折江忠道
小野寺 光、相沢 創、工藤翔陽、大塚雄太
別府真也、岡田美優
藤原歌劇団合唱部
会場:帝国ホテル 富士の間

6/26(水)
昭和女子大学
藤原歌劇団公演「カルメン」(ハイライト)

出演:北園彩佳、澤崎一了、岡 昭宏、大澤恒夫
岩美陽大、別府美沙子、浅田眞理子
丸尾由香、琉子健太郎、山内政幸
藤原歌劇団合唱部
会場:昭和女子大学人見記念講堂

リサイタルマネジメント

5/17(金)
駒川音楽祭コンサートシリーズ2024
Vol.1「上江隼人 バリトンリサイタル」

出演:上江隼人、光岡暁恵
会場:東京大学駒場リサーチキャンパス内

8/5(月)
立原ちえ子リサイタル

出演:立原ちえ子
会場:東京文化会館 小ホール

9/1(日)
佐田山千恵リサイタル

出演:佐田山千恵、村上敏明、高橋宏典
会場:軽井沢大賀ホール



J O F ニュース

APAN PERA OUNDATION
日本オペラ振興会会報

No.28

表紙photo：
2024年日本オペラ協会公演
「ニングル」
倉本聰 原作 / 渡辺俊幸 作曲
吉田雄生 オペラ脚本
指揮：田中祐子 演出：岩田達宗
写真：池上直哉



日本オペラ振興会 公式ホームページで 随時情報更新中！

いますぐ！

日本オペラ振興会 検索

- ★藤原歌劇団・日本オペラ協会のオペラ公演はもちろん、主催コンサートや協力公演の情報も公開！
- ★お得なセット券〈プレミアムシート〉も簡単にご入会できます！
- ★JOF Blog 舞台裏レポートで、舞台のウラ側や稽古風景、育成部の授業風景などをご紹介！
- ★オペラ鑑賞の「いろは」や、知らなかったオペラのホントを大公開！

公演チケットはオンラインチケットが便利！

24時間、どこにいても
座席指定で公演チケットが購入可能です！
オンラインチケットはこちらから →



公益財団法人日本オペラ振興会

● 2024年3月11日より事務所が移転いたしました。

本 部：〒151-0061 東京都渋谷区初台2-5-8 西新宿豊国ビル102 【TEL】03-6721-0995 〈チケットセンター〉03-6721-0874 (平日10:00~18:00)
稽古場・育成部：〒215-0035 神奈川県川崎市麻生区黒川76-1 【TEL】044-819-5505